

令和6年度小溝清掃及び精霊送り後清掃に伴う容器等配置及び回収業務仕様書

1 業務内容

各町内会等の単位で実施する小溝清掃及びお盆の精霊送り後清掃時に予め市が実施した要望調査結果を基に、各町内会の清掃実施日及び精霊送り後清掃までに市が指定する場所・期日に容器等の配置を行い、清掃実施後、市が指定する期日までに容器等を回収し遅滞なく田辺市ごみ処理場へ搬入のうえ、容器内の溝土等を処理する。（配置・回収期日（案）は、別添③のとおり）

2 業務委託期間

令和6年4月1日から令和6年8月31日までとする。

3 小溝清掃及び精霊送り後清掃実施日

○ 小溝清掃・・・令和6年度容器等配置計画表等は別添①のとおり

○ 精霊送り・・・令和6年度は今後調整のため、決定後、契約予定者に直接渡します。

（参考：令和5年度精霊送り後清掃用容器等配置表等は別添②のとおり）

4 必要資格（技能講習の修了）等

◎小型移動式クレーン運転技能講習修了者又は移動式クレーン運転士

◎玉掛技能講習

5 使用車両

使用車両については全て契約予定者が責任をもって用意すること。また車両の運行に当たっては交通安全に十分注意すること。

6 委託金の支払

契約金額を業務委託期間内の5ヶ月均等割（百円未満の場合については最終月精算）とし、翌月支払とする。

7 再委託の禁止

受託者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第4条第3号の規定により、本件委託業務を第三者に再委託してはならない。

8 その他本業務を遂行するにあたっての取り決め事項

(1) 町内会等への容器等配置数及び配置日、容器等回収数及び回収日等の日報をつけること。

（別添④の書式で報告書を作成し、毎月終了ごとに市へ提出すること）

(2) 容器等は田辺市ごみ処理場に保管してあるものを使用し、すべての作業が終了した後は容器（土のう袋を除く）を清掃し、指定する位置に戻すこと。

(3) 容器等の配置については、なるべく玄関先や車庫前等は避けるとともに、周辺の交通事情等に十分配慮し迷惑にならない場所（溝蓋の上等）へ配置すること。また、各町内会等の清掃実施日の2日前までに必ず行うこと。

(4) 小溝清掃実施計画書の容器等のほか、契約期間中に容器等の追加、追加に伴う回収及び移動の要望がある場合について、市あるいは町内会等の指示に従うこととし、追加があっても契約金額の変更は認められない。削減があった場合についても同様とする。また、台風や大雨等自然災害の影響が危惧される場合は、容器等の一時撤去、撤去後の再配置、再配置に伴う回収及び移動等について、都度市の指示に従うこととし、契約金額の変更は行わない。

- (5) 容器等の回収については、配置・回収の期日を厳守することとし、清掃終了後速やかに行い、回収遅刻、回収漏れ等がないよう契約予定者にて事前に計画を立てておくこと。
- ※令和6年度の小溝清掃に係る配置・回収の期日（案）については別添③のとおり
- 回収した容器等については、臭気の発生防止及び不法投棄ごみ混入防止等のため、直ちに田辺市ごみ処理場へ搬入すること。
- また、容器等の回収にあつては、主要道路等交通量の多い道路を優先するなどして、苦情のないよう配慮すること。
- 容器等を回収した後、付近の溝土等の散乱状況を確認し、ある場合はそれを清掃すること。
- (6) 容器等の追加や削減、配置位置の変更、回収漏れ等があった場合、電話及びFAX等の方法により、その都度、市から連絡するのであらかじめ対応の体制を整え、早急に対応すること。
- (7) 田辺市ごみ処理場へ搬入する場合は、ユニック付き車両については、3トン車以下、その他車両については、2トン車以下の車両を使用すること。
- (8) 搬入車両については、別紙「搬入車両登録申請書（様式1）」に「搬入車両一覧表（様式2）」及び「搬入車両写真（様式3）」を添付し、予め市へ登録すること。
- (9) 次の資格（技能講習の修了）を両方有する者を1名又は次のいずれかの資格を有する者を1名ずつ（計2名で下記両方の資格を満たすこと）を主任技術者として配置すること。
- ・ 小型移動式クレーン技能講習又は移動式クレーン運転士
 - ・ 玉掛技能講習
- (10) 容器等の搬入、搬出及び仮置場への投棄等については、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後4時までの時間を厳守すること。
- (11) 土曜日、日曜日、祝日（振替休日含む）は廃棄物処理課が閉庁のため、田辺市ごみ処理場への搬入、または搬出することができない。
- (12) 作業効率を上げるため、容器等内の溝土を仮置場に積み下ろしする際に必要な重機については、契約予定者が責任をもって用意すること。
- (13) 小溝清掃時の溝土に混入したごみ、精霊送り後清掃時のごみを処理する際は、4分別（可燃・資源・プラ・埋立）にて処分することとし、その作業については、廃棄物処理課の指示に従うこと。
- (14) 契約期間中、作業進捗状況が著しく遅延している場合あるいは作業態度等が著しく欠如していると判断されるときは、契約を解除する場合がある。また、その場合の支払額については、契約金額を契約期間日数で除した額を、契約した日から解除する日までの日数に乗じた額から一円未満の端数を切り捨てた額を総額とした額のうち、未払いの額を支払額とする。
- (15) 契約期間中、破損等のため使用不可能となった容器等については、契約予定者において市が指示する場所・方法にて集積すること。その際、処分費用のみ市が負担する。
- (16) 業務中、万一事故があった場合は、契約予定者が一切の責任をもって処理し、直ちに市へ報告すること。
- (17) その他、事業全般については環境課の指示に従い、仮置場への投棄及び分別等については廃棄物処理課の指示に従うこと。

